

## お問い合わせください

法人のお客様  
お問い合わせ窓口

営業部

Tel **03-3251-2600**  
Fax 03-3251-2602  
sales@plathome.co.jp

購入後の  
お問い合わせ窓口

カスタマーケア

Tel **03-3251-6116**  
Fax 03-3251-0629  
support@plathome.co.jp

オンラインストア

ぶらっとオンライン

http://online.plathome.co.jp  
biz@plathome.co.jp  
Tel 03-3251-6151  
Fax 03-3251-6173

代表

管理部

Tel 03-3251-6111  
Fax 03-3255-9506

※1: CFスロットを除く  
※2: 通常の低消費電力1Uサーバー:一般的な低消費電力1Uサーバーとして、消費電力87.22WのTRQC-1/325A(QuadCore Core2Quad Q9300(2.5GHz)、1GBメモリーモジュール(DIMM)、250GB 7200rpm SATA-II HDD、ぶらっとホーム)と比較。  
※3: 38.8kg-CO2/kWh: 0.008kWh×0.555kg-CO2/kWh×24時間×365日=38.8(小数点二位以下切捨て)ここでは、以下の算定法に基づき、各種数値を記載しています。  
・年間CO2排出量(kg-CO2) = 消費電力(kWh) × CO2排出係数(0.555kg-CO2/kWh) × 24時間 × 365日  
・CO2排出係数については、「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(平成18年経済産業省・環境省令第3号)」にて環境省より提示される値0.555kg-CO2/kWhを用いています。

本カタログに記載の商品については、当社営業部もしくはオンラインストアにてご購入・ご相談いただけます。上記までお気軽にお問い合わせください。

記載の価格は全て2010年10月現在のものであり、変更される場合があります。最新の価格についてはお問い合わせ下さい。

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品の仕様・外観は、予告なく変更される場合があります。

Java, the coffee cup logo, and all Java based marks are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

# Plat' Home

www.plathome.co.jp

ぶらっとホーム株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13  
秋葉原ダイビル 9階

取扱店印

監視管理、DHCP、DNS ...

## ネットワークの管理をスリム化する



※ほぼ原寸大

**OBS600/RAPシリーズ**  
参考価格 59,800円(税込)より

## 企業ネットワーク用サーバー

# OpenBlocks™ 600



http://openblocks.plathome.co.jp

監視管理、DHCP、DNS、NTP...

# OpenBlockS は、サーバー立ち上げにスピードを、運用に信頼性を与えます。

手のひらサイズ、エコ、メンテフリー。  
ネットワークに必要な機能を容易に導入できるアプリケーションマネージャ機能を実装。  
簡単に高信頼のネットワークサービス運用が可能で、多拠点ネットワークの管理も手間なく実現できる、手のひらサイズの企業ネットワーク用小型サーバーです。

## あらゆる規模のネットワークを手間なく管理 OpenBlockS 600とは

### 各種サーバーを手間なく導入できる

#### 「アプリケーションマネージャ」機能

監視管理、DHCP、DNS、NTPなどネットワークコアと呼ばれる各種サーバーを、高信頼で、かつスピーディに設定・導入できる「アプリケーションマネージャ」機能を搭載。  
設定済のOpenBlockS 600を離れた拠点に郵送すれば、あとはケーブル接続だけで簡単に導入が完了します。



### メンテナンスフリーの安定稼働

#### 故障要因を徹底排除

ネットワークに必須のサーバーに求められるのは、コアサーバーとしての低故障率・安定稼働。  
OpenBlockS 600は、HDDやファンなどの回転部品、あるいは通気口など、故障要因を徹底排除。メンテにかかる時間・費用・手間を抑制し、安定稼働を続ける高信頼なネットワーク運用を実現できます。



### エコロジーを徹底追及

#### 超低消費電力、各種規定もクリア

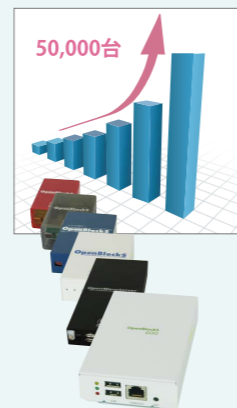
リソース節約への取り組みが必須となった現代の企業にとって、OpenBlockS 600は大きな導入メリットを備えています。  
約8.0Wの超低消費電力、手のひらサイズの省スペース性、RoHS指令やグリーン購入法といった多くの各国環境規格に適合。あらゆるリソースやコストを節約する徹底したエコロジー仕様です。



### 実績が裏付けるトータルな信頼性

#### 豊富な企業導入実績

OpenBlockSシリーズの導入実績は累計で50,000台超。きめ細かなファームウェア更新や対応ハードウェア検証といった技術支援サービスも、シリーズを通じて高い評価を受けてきました。  
小規模から大規模まで、あらゆるネットワークの管理をトータルにサポートします。



## 信頼性

OpenBlockSシリーズのクオリティ

### 洗練された「サーバークオリティ」

OpenBlockS 600は、企業向けマイクロサーバーとしてベストセラーとなったモデル「OpenBlockS 266」の意匠を受け継ぎ、更なる性能向上を得た、OpenBlockSシリーズの最新モデルです。  
コンパクトさ、堅牢性、拡張性と、従来モデルが受け継いできた特長は

### 長い実績が証明するデファクトスタンダード

OpenBlockS 600は、企業のネットワークを10年にわたり支え実績を積んできた、小型サーバーのデファクトスタンダードシリーズ最新モデルです。  
本シリーズの初代モデルは、国内Linux市場が隆盛を迎えた2000年に登場しました。OpenBlockSは当時の企業からの要請に見事に答え、多くのユーザー企業からの支持を獲得しました。販売台数としては約50,000台（シリーズ累計）、ぬきんでた高品質は折り紙つきです。

そのままに、現代のビジネスインフラに対応する処理性能をも獲得することで、企業のネットワークコアを担うあらゆる用途において大きな導入効果を発揮する「サーバークオリティ」が実現しました。

### OpenBlockSの系譜

発売年月	モデル名
2000年 7月	OpenBlockS
2001年10月	OpenBlockSS
2001年12月	OpenBlockSR
2003年 4月	OpenBlockS 266
2004年12月	OpenBlockS 266 (メモリ128MBモデル)
2005年11月	OpenMicroServer
2007年 8月	OpenBlockS 266 (RoHS指令対応モデル)
2009年 5月	OpenBlockS 600

## パフォーマンスと機能

製品の特長

### 高い処理能力

#### ◆ 600MHz CPU, 1GB RAM, x2 GbEポート

手のひらサイズの小型筐体は保ったまま、高い処理能力を獲得。通常のマイクロサーバーには不向きな用途でも、安心して活用が可能です。

パケットキャプチャ・解析  
IDSやトラフィックモニタに



LAMP・LAPP  
グループウェアやCMSの運用に



### かんたんユーザーインターフェイス

#### ◆ アプリケーションマネージャ (詳細はP.4へ)

必要なアプリケーションのインストール・設定が、ユーザーインターフェイス上で簡単に行えます。

#### ◆ グラフィカルシステムモニタ

CPU・メモリ・ネットワークの状況を表示します。

#### ◆ ネットワーク設定

ネットワーク等、OSの基本設定が行えます。



#### ◆ スループット

ネットワーク性能(下図参照)では、現在の一般的なIAサーバーとほぼ同等のスループットを実現し、グループウェアやスパムフィルタのようなトラフィック処理性能を要するサービスへも活用可能です。

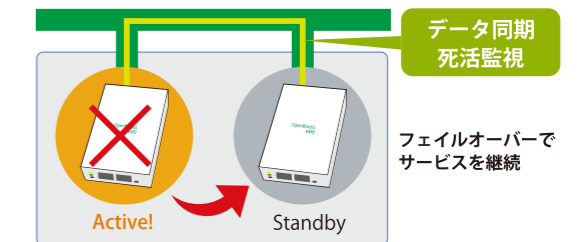
#### スループット測定値

モデル名	OpenBlockS 600	OpenBlockS 266	OpenMicroServer	参考:IAサーバー*
測定値	521.75 Mbps	72.74 Mbps	83.49 Mbps	537.24 Mbps

\* CPU: QuadCore Xeon E5310 1.60Ghz, MEM: 4GB, Ether: 1000BASE-T (Intel 82563EB), OS: CentOS 5.2

### Java™ 環境の搭載でアプライアンス化が容易に

Java™ SE 5.0 Embeddedを搭載、互換性検証や実環境でのパフォーマンス確認といった手間を省き、Javaソフトウェアを簡単にインストールできます。





安定稼働、メンテナンスフリー

高い堅牢性

OpenBlockS 600は、あらゆるサービスの展開に適應する、高い耐熱性・耐塵性を備え、故障要因を可能な限り排除しています。

全ての構造は堅牢化の目的の下で単純化され、一枚基板・コネクタレス(※1)を実現。またファンやHDDといったスピンドルも非搭載で、故障率を大きく低減。こうしたことから半密閉型の筐体が可能となり、ホコリなどへの高い耐性から、設置場所を問わない安定稼働を実現します。発熱部材は全て底面に設置し、高効率な排熱構造とともに、55℃の設置環境での動作保証(ACアダプタも含む)が可能に。

配電盤や床下といった悪条件下での動作のほか、認証サーバーやシステム監視機器といった、停止できないサービスへの導入により、OpenBlockS 600は高い導入効果を発揮します。

徹底したエコロジーの追求

超低消費電力、エコ仕様

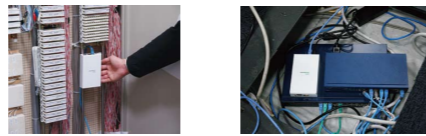
OpenBlockS 600の消費電力は約8.0W。これは、通常の低消費電力型IAサーバー(※2)の、約10分の1(右図参照)にあたります。Webサーバーなど、IAサーバーでは過剰スペックとなるサービスをリプレースすることで、サービスの質は損なうことなく、90.8%もの電力削減を達成します。

環境への配慮: 1000トンのCO2をオフセット済

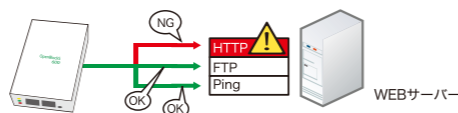
OpenBlockS 600の発売にあたっては、インド・タミルナドゥ地方の風力発電プロジェクトから発生する1,000トンの排出権を三井住友銀行を通じて購入することによる、CO2オフセットが行われています。



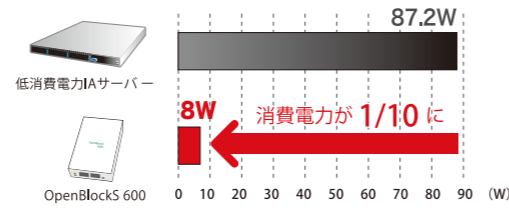
■ 熱や粉塵の気になる場所へ - MDF内、床下など



■ 停止できないサービスに - 機器・ネットワーク監視など



■ 消費電力 1/10 を実現



	低消費電力IAサーバー (※2)	OpenBlockS 600
消費電力	87.2W	約8.0W
年間CO2排出量	424.1kg-CO2	38.8kg-CO2 (※3)

■ アプライアンス製品開発例



アプライアンス開発のベースにも

多くの採用実績

ソフトウェアベンダのお客様なら、OpenBlockS 600をベースハードウェアとすることにより、自社ソフトウェアをインストールした手離れのよいアプライアンス製品の開発・販売を、手間なくスピーディに実現できます。また、貴社ソフトウェアを用いたアプライアンス製品の開発や、ワンストップに販売開始が可能な自社ブランド化もトータルでサポートいたします。(詳細はP.5へ)

サーバー開発をトータルにサポート

オープンな仕様

全ての仕様をオープンに

開発環境をWebで無償提供

オープンソース思想のもと開発されたOpenBlockS 600は、ハードウェアの仕様や周辺機器の情報、搭載ソフトウェアのソースコードなどの情報がWeb上で公開されています。技術情報: <http://openblocks.plathome.co.jp/support/> 実際のサーバー構築方法も、コマンドラインベースでのチュートリアルが数多く公開されており、開発に余計な手間をかけず、スピーディなサービスの開始が可能です。

シンプル、安定

自社ディストリビューションOS搭載

OpenBlockS 600に搭載される「SSD/Linux」は、当社が開発・維持・配布を行う、オープンソースの独自ディストリビューションです。SSD/Linuxは、限られたハードウェアリソースで十二分に性能を発揮できるよう最適化され、Linux標準コマンドを維持しつつ小型化されたサーバー構築やアプライアンス開発に特化したOSです。当社Webサイトでは、最新のSSD/Linuxおよび開発環境(セルフ/クロスコンパイル環境)に加え、アプライアンスの実装手順やコンパイル済みアプリケーション等の情報を日々更新し、無償で公開/配布しています。



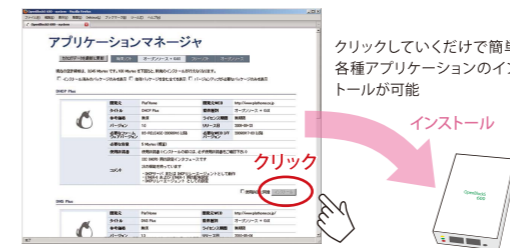
Application Manager  
アプリケーションマネージャー



監視管理、DHCP、DNS、NTP...

簡単にサーバーを立ち上げ可能

OpenBlockS 600の「アプリケーションマネージャ」機能を活用することにより、必要なアプリケーションのインストール・設定を、余計な手間をかけずスピーディに行うことができます。監視管理やDHCP、DNSといったものからNTPまで、コンパイル済みのバイナリデータが随時追加・提供されてゆいため、各種サーバーの立ち上げや運用に必要なリソース消費を劇的に低減できます。



パッケージ品からオープンソースまで

多彩なソフトウェア

アプリケーションマネージャでは、ソフトウェア単体でも発売されている各種パッケージソフトウェアからオープンソースのものまで、実に様々なアプリケーションを提供します。中には、ハードウェアに組み込み済みのアプライアンスとして発売されていた実績をもつソフトウェアもあり、その品質は折り紙付きです。



アプリケーションマネージャで利用できるソフトウェア

◆ パッケージソフトウェア

**有償 desknet's (グループウェア)**  
desknet's (デスクネッツ)は、イントラネット/インターネットを経由していつでもどこでも利用可能なWebベースのグループウェアです。  
参考価格 41,790円(税込)から

**有償 Denbun (Webメールシステム)**  
Denbun (デンブン)は、ブラウザや携帯電話から電子メールを利用できるWebメールシステムで、本格的なWebメールシステムを求めるお客様に最適です。  
参考価格 41,790円(税込)から

**サブスクリプション Hinemos® Light (運用管理)**  
Hinemos® (ヒネモス)は、複数のコンピューターを単一のコンピューターのイメージで運用管理できるオープンソースソフトウェアです。  
参考価格 128,000円(税込)から

**有償 PacketiX VPN (VPNソフトウェア)**  
PacketiX (パケティックス) VPNは、リモートアクセスから拠点間接続通信までを容易に実現可能です。NATやHTTPプロキシ等の配下にあっても、これらの障壁を意識することなくVPN構築が可能です。  
参考価格 52,500円(税込)から

**有償 PacketiX Desktop VPN Business (リモートデスクトップ)**  
PacketiX (パケティックス) Desktop VPN Businessを導入すれば、遠隔地にあるコンピューターを、手元のコンピューター画面から容易に操作・運用が可能です。  
参考価格 25,200円(税込)から

◆ オープンソースソフト + GUI

オープンソースソフトウェアに、設定用の管理インタフェースを付与して提供します。基本的な設定をWebインタフェース上で行えるため、どなたでも手軽に利用可能です。

**無償**  
ISC DHCP (DHCPサーバー)  
ISC BIND (DNSサーバー)  
Syslog-ng (Syslogサーバー)  
NTP (NTPサーバー)

◆ フリーソフトウェア

**無償 festivoice (音声チャット)**  
festivoice (フェスティボイス)を使うと気軽に多人数の音声チャットを始められます。

◆ オープンソースバイナリ **無償**

- Apache / httpd (HTTPサーバー)
- PostgreSQL / MySQL / SQLite / Memcached (データベース)
- Perl / Ruby / PHP (プログラミングインタプリタ)
- bind / dhcp / ntp (ネットワークコアサービス)
- postfix / popa3d / spamassassin (メール)
- tcpdump / wireshark / nmap / Nagios / quagga / conserver (ネットワーク検査・運用)

その他多数収録





# 故障知らずで手間いらずのデータ中継サーバーにより 業務効率とセキュリティを同時に向上

異なるネットワーク間のデータのやり取りが、安全かつスムーズに

株式会社フジテレビジョン <http://www.fujitv.co.jp/>

報道、スポーツ、音楽、ドラマ、バラエティやアニメ等の番組で常に高視聴率を維持するキー局。  
平成21年度は前年に続きゴールデン(19時～22時)、プライム

(19時～23時)、全日(6時～24時)の時間帯で、関東地区において民放テレビ局トップの視聴率を獲得し、6期連続の「三冠王」を達成。

## OpenBlockS 600の導入により、飛躍的に業務効率が向上

今や、テレビ放送内の情報伝達において、CG、あるいはスーパー・テロップといった文字情報は欠かせないものとなり、それらが活用されない番組を見かけることはほとんどない。

民放キー局株式会社フジテレビジョン(以下フジテレビ)では、ドラマ、バラエティ、スポーツ番組などで使用されるCGの制作に加え、報道番組などでのリアルタイムなCG制作・編集、さらにはそれらCGの送出スタジオと、CGに関わる様々な業務を担当する部署が、階をまたいで複数存在する。これら各部署はそれぞれ、セキュリティの都合上、管轄の異なるいくつかのLANを使用し、作業にあ

「セキュリティの都合上、各ネットワークを直接つなぐことはできません。そのため当初は、別々のネットワーク間でCGやテロップのデータをやりとりする場合には、作業フロアのある14階からCGを送出するスタジオ(スタジオサブ)がある4階まで、データの入ったUSBメモリを持ったスタッフが駆け下りて行き、それを直接手で相手に渡していました。」  
技術開発局設備対策室設備運用部 部長職  
新井 清志 氏



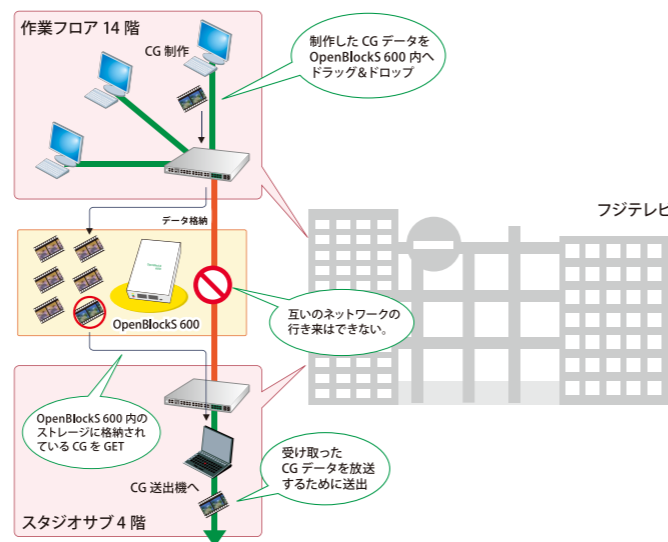
技術開発局設備対策室設備運用部 部長職  
新井 清志 氏

「今USBメモリは色々とトラブルの元となっており、とくに中にウイルスが入っていて感染してしまうパターンが非常に多いため、このやり方はなくしたいと考えていました。お互いのネットワーク同士の独立性は保ちつつ安全にデータを受け渡しでき、しかも誰でも利用できる、というやり方はないものかと。しかしこのとき、LAN同士を結ぶためにわざわざ高価なファイルサーバーを導入するわけにもいきませんでした。そこで、データのやり取りをセキュアに、ドラッグ&ドロップで誰にでも行うことができるデータ中継サーバーを、OpenBlockS 600を使って導入することにしました。」  
こう語るのは、技術開発局設備対策室設備運用部 CGシステムエンジニア 遠山 健太郎 氏



技術開発局設備対策室設備運用部 CGシステムエンジニア  
遠山 健太郎 氏

### ネットワーク図(例)



OpenBlockS 600は14階の作業フロアと4階にあるスタジオサブのいずれのネットワークからも外側に位置し、内蔵コンパクトフラッシュのストレージ領域は、どちらのネットワークからも、ネットワークドライブとしてWindowsPC または Macを介し確認することができる。もちろん、互いに接続が許されない2つのネットワークは直結されておらず、データ授受の際のセキュリティは保たれる。このことにより、14階で制作したCGデータをネットワークドライブにドラッグ&ドロップ、その後4階のCG送出用PCで同じくドラッグ&ドロップによりデータを取得し放送、というシステムが実現、飛躍的な業務効率の向上を果たすこととなった。



4階スタジオサブ(送出スタジオ)

## 比類のない堅牢性が採用の決め手

「OpenBlockSの存在は、以前から雑誌やインターネットで話題になっていたもので、元々知っていました。このシステムの話が出た時は、正直OpenBlockSを使うこと以外は考えられなかったですね。」と遠山氏。まずはシステム開発に着手した2007年当時のシリーズ最新機OpenMicroServerを本システムに導入し、そしてその後、OpenBlockS 600の発売と同時に、そちらを追加で導入した。いずれも採用の理由は、その比類のない堅牢性にあったという。

「まずOSがLinuxというのはすごく助かります。Linuxならウイルスに対して打たれ強いのですから。片側のネットワークが感染したとしても、OpenBlockS 600を飛び越えて反対側のネットワークにまでウイルスが入ってしまうことはまずありません。またそういう意味で、ポートが二つあり、ネットワークセグメントを2つ持てるようになるのも重要なポイントでした。」(新井氏)

「HDDが入ってないのも良いですね。フラッシュタイプなら軽くて壊れにくいので、一度(サーバーを)構築して各部署に設置してしまえばあとは手間いらず。もうこのシステムは3年以上前から運用を続けていますが、一度も壊れていません。」(遠山氏)

## ITの知識がなくても簡単に利用できる

「それと、現場はITスキルの高い者ばかりではないので、通常のサーバーマシンの起動やシャットダウンを正しく行うことができないケースが想定されます。しかしその点、OpenBlockS 600なら、ACアダプターを挿せば起動して、万が一の時には抜けば落ちる、というのが、知識がない人には非常に使い勝手が良い。電源投入後の起動も数十秒で完了するので、仮に放送中になんらかの理由で落ちたとしてもすぐに復旧できる、という安心感はとて大きいです。とはいえ導入してからOpenBlockS 600が落ちたことは一度もありません。」(遠山氏)

「小さくて場所をとらないのも魅力の一つですね。スタジオは色々な機材が持ち込まれているのでスペースが限られていますから。また省スペースという意味では、モニターが必要ないのも助かりますね。」(新井氏)



堅牢な小型の筐体を生かし、サーバー上のデッドスペースに設置されるOpenBlockS 600

## 業務効率の向上とセキュリティの強化を同時に実現、優れた導入効果

「いままでのUSBメモリを使ったデータのやり取りから、PC間でのデータのドラッグ&ドロップへと、時間・労力の面で導入効果は大きいです。またセキュリティ面でも、万全のウイルス対策が実現できました。高価なファイルサーバーを導入することを考えると、コストパフォーマンスは非常に優れていますね。」(新井氏)

今回のマイクロサーバ導入について、システム管理者からは設置・管理の容易な点が、そしてユーザーからは誰でもすぐに利用可能な点が、それぞれ好評であるという。そのため現在は、フジテレビ社内の他の複数の拠点でも同様の用途で導入されるに至った。※1  
通常であれば、業務効率向上のためと称して、業務の簡略化や作業時間短縮といった手法が採用されることにより、セキュリティがおろそかになるケースも少なくない。また逆にセキュリティを強化しようとする、作業工程増加による業務効率の低下が起こる場合もある。この点フジテレビ技術開発局のケースでは、OpenBlockS 600を採用することにより、業務効率向上とセキュリティ向上という両方の課題を解決したことになる。

管理者、利用者共に高い評価を寄せるOpenBlockS 600は今や、フジテレビの番組制作に欠かせないITインフラとして活躍中である。

※1 導入製品  
OpenBlockS 600(専用CFカード 4GB)×1台  
OpenMicroServer(専用CFカード 4GB)×3台

## 生放送の視聴者アンケート収集のウイルス対策としても使用されていました

ぶらっとホームのマイクロサーバシリーズは、今回のOpenBlockS 600の採用に先駆け、2008年、生放送中のウイルス対策として、すでに導入済みであったという。当時、フジテレビは、生放送中にインターネットでテレビ視聴者からアンケート結果をリアルタイムで取得し、その結果を番組内で即反映させていくという番組の制作・放送を行っていた。実は、このシステム内でも、ぶらっとホームマイクロサーバOpenMicroServerが活用されていたという。「スタジオサブの中に、アンケート情報をリアルタイムに取得するために、インターネットにつなげたPCがありました。アンケート結果を放送するためには、CGを送出するためのマシンを、そのPCとつなげる必要があり、当然ウイルス対策の必要があるため直結することはできません。そこで互いのPCの間にOpenMicroServerを置き、データ中継サーバーとして利用することでセキュアなデータのやり取りを実現し生放送を行っていました。」と遠山氏。実は、これがぶらっとホームのマイクロサーバが、フジテレビで最初に採用された事例であり、その優れた性能と導入効果により今日の採用につながっている。



# ビル管理、省エネの要「BACnet」システムを アプライアンス化で容易な構築を実現

ビルの運営管理を最大限に効率化可能な「BACnet GateWay」にOpenBlockS 600を採用

**富士アイティ株式会社** <http://www.fujielectric.co.jp/fit/>

電機メーカーとして80年以上の歴史を持つ富士電機グループ内において、「情報技術」「制御技術」「エンベデッド(組み込み)技術」の3つをコア技術とし、ソフトウェア開発およびエンジニアリングを行う。

多様なシステムやソフトウェア開発に取り組んできた豊富な経験と実績を基に、高い信頼性が要求される公共施設や企業などの課題解決に貢献し、そのノウハウと経験を活かして、最適なソリューションを提供している。

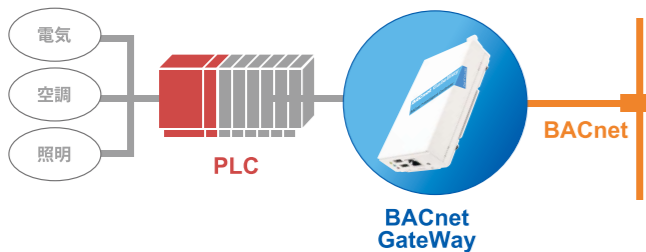
## BACnet GateWay (バックネット ゲートウェイ)

富士アイティ株式会社(以下 富士アイティ)は、インテリジェントビル管理の国際通信規格である「BACnet(※1)」と、Ethernetを使ってデータ通信を行う「PLC(※2)」を結ぶためのアプライアンス「BACnet GateWay (バックネット ゲートウェイ)」の最新モデルを、2010年9月より販売開始すると発表した。そのハードウェアとして採用されたのが、ぶらっとホームのOpenBlockS 600である。

BACnet GateWayは、BACnetの最大の特徴である各設備機器のメーカー固有の仕様を気にせずに一元監視できるという機能を備えている。そのため、ビル施設における電気、空調、照明などの機器を、容易にBACnetで接続し、設備の監視・制御を行うことができる。これ一台で、ビルや施設の運営管理を効率化できる優れたアプライアンス製品となっている。

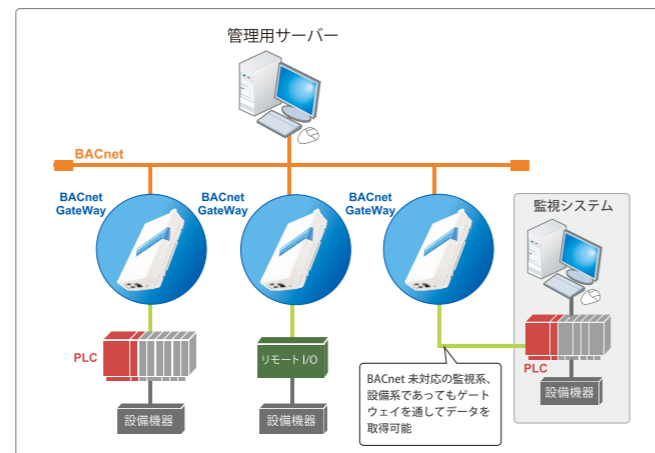


BACnet GateWay



※1 BACnet: ASHRAE(米国暖房冷凍空調学会)によって制定されたインテリジェントビル用ネットワークのための通信プロトコル規格。BACnet プロトコルを用いて電気、空調、照明などの総合的な監視・制御を行うことができる。  
※2 PLC: Programmable Logic Controllerの略。パソコンや専用の入力装置を利用して、制御内容をあらかじめプログラムによって表現し、これを逐次実行することによりシーケンス制御を行う装置。

## BACnet GateWayのネットワーク構成図



BACnet GateWayはPLCやリモートI/Oと接続すれば、施設内の各種機器の情報がリアルタイムで取り込むことができ、管理用サーバーを介して施設全体の監視・制御を行うことが可能なほか、施設内の設備機器に何か故障や異常が生じた場合には、アラームで管理者に通知される機能も有する。また専用のユーザインターフェースが用意されており、いつ何が起こったかなどのログ(履歴)の参照を簡単な操作で実行できる。まさに、ビル全体を「見える化」し容易な監視・制御を実現する製品である。



実際の監視システム画面

## フルモデルチェンジした最新版で OpenBlockS 600を採用

BACnet GateWayは、今までのモデルではWindows系やLinuxディストリビューションのOSを採用していた。しかし、Windows系のOSでは脆弱性の問題や動作速度、OSアップグレード等の問題があり、LinuxのディストリビューションではOS自体のカスタマイズが必要であった。OpenBlockS 600に標準搭載のSSD/Linuxはそのような問題もなく、組み込み系のハードウェアとして最適であったため、筐体としてOpenBlockS 600を採用した。



社会システム事業部  
社会システム技術部  
施設監視グループ  
リーダー  
矢部 良久 氏

「ソフトウェアのバージョンアップに伴い、ファンレスで壊れにくく、安定して動作する高性能なハードウェアはないだろうか、Webで組み込み用のPC等を含め色々探していました。そこで見つけたのがOpenBlockS 600です。」  
(富士アイティ 社会システム事業部 社会システム技術部 施設監視グループ リーダー 矢部氏、以下同)

「当時、ハードウェアの選定の際に色々な企業からカタログを入手したのですが、ギガビットのイーサポートが2つ搭載されているOpenBlockS 600に一目おきました。様々な機器を調査しましたが、1ポートしか搭載していなかったり、10/100BASEであったり…。通信用のゲートウェイなので、その辺りのスペックは大変重要になります。また開発にあたっては、Linuxベースで動くことも重要なポイントです。加えて、小型、堅牢、低消費電力、価格面と、メリットはたくさんありました。」

選定を進めるのち、矢部氏は、展示会(ITpro EXPO)で実際にOpenBlockS 600を手に取りつつ説明を受け、ついに検証・導入へと至った。

BACnet GateWayの開発には、OpenBlockS 600に標準搭載のSSD/Linuxをそのまま使用し、開発・検証期間は約1年。その間、大きなトラブルは特になく、クロスコンパイルに手間取るなどちょっとした問題の際も、ぶらっとホームのサポートセンターの迅速な対応で順調に開発を進められたという。

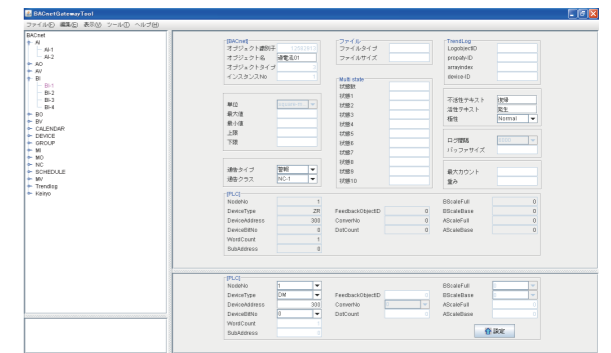
## スペックが向上、優れた導入効果

「BACnetのバージョンアップに伴い、自社のソフトウェアにマッチするハードウェアの選定をしていました。いくつかの候補の中で最もパフォーマンスに優れ、ソフトウェアとの相性も良かったのが現在のモデル(OpenBlockS 600)です。ネットワークも10/100BASE-Tポートからギガビットイーサポートにグレードアップし、メモリなどの性能も以前のモデルよりも向上している、ということも高く評価しています。省電力な点も大きなメリットですね。」

目標としていた部材コスト抑制、ハードウェアスペック向上の実現に加え、OpenBlockS 600が優れた省エネ設計であることも、設備管理を24時間365日の常時稼働をおこなうBACnet GateWayにとっては、大きな導入効果となった。

## ユーザーサイドからも高い評価

「BACnet GateWayは、基本的には定義ファイルを入れるだけで簡単に構築可能です。BACnetを初めて導入される、お客様にもご好評を頂いております。」



定義ツール画面

こうした容易な導入プロセスに加え、ハードウェアがOpenBlockS 600に代わったことによって、次のような付加価値も生まれた。

「ハードウェアが小さくシンプルになり、それでいてさらに堅牢になったので、制御盤の中に設置したり、デスクの上に設置したりと、どこにでも設置が可能になりました。そういった特長はお客様に大変伝わりやすく、満足頂いております。」

「また、弊社ではBACnetの監視システムの製作・納入も行っており、BACnet GateWayを使用することで、短期間で安定したシステムを実現しております。」

さらには、シンプルな外観も訴求力の面で評価が高く、ハードウェアスペックを十分に満たしたうえで付加価値を得られたことに、富士アイティでは十分な導入効果を感じているという。



PLCとの接続

あらゆるビル設備を管理できるBACnet GateWayにおいて、スリムかつタフなシステム運用を実現するOpenBlockS 600の貢献度は高い。

導入製品:  
OpenBlockS 600 (専用CFカード1GB)